

16 バリアフリー教室 in宮古島市

沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者などに対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今年度は、11月21日に、宮古島市でバリアフリー教室を開催しました。宮古島市は平成25年度に県内で初めて「バリアフリー基本構想」を策定し、バリアフリー化の推進に取り組んでいます。

当日は、宮古島市、NPO法人バリアフリーネットワーク会議、TOTO(株)からの協力を得て、沖縄県宮古合同庁舎で開催しました。

「誰もが安心して利用できる商店街に向けて」をテーマに、高齢者疑似体験などを交えた講演を行った後、参加者が班ごとに分かれ、障がい者、高齢者の視点から意見交換、発表などのワークショップを行いました。また、宮古総合実業高校の学生が実施した

市街地周辺のバリアフリー状況などの点検結果についての発表を行いました。

講演、ワークショップを通して、身の回りの施設や設備などが障がい者や高齢者などにも利用しやすいように整備されていることや、どういう役目をしているか学んでもらいました。

今回のバリアフリー教室を終えて、参加者から「色々な障がい、老化の度合いがあつて、それぞれの状態の方々にフィットするような街作りが必要だと思った。」「講演での、バリアフリーの取組みを通して、新たな需要を喚起するという視点はとても重要だと思った。」「高齢者や障がいのある人の立場になって考えたいと思った。」「観光が今後さらに拡大していくので、バリアフリーの街作りについて考えていきたい。」などの意見をいただきました。

沖縄総合事務局としては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っています。

【講演】



【ワークショップ】

